

# 東北地方の豪雨水害に 調査団を派遣

党豪雨災害対策本部（大畠幹事長・本部長）は8月11日、同月9日に記録的な豪雨に襲われ大きな被害が出た岩手県盛岡市、零石町、矢巾町の被災現場を訪れ、階括連対策本部（県連豪雨災害対策本部長代行）ら岩手県連対策本部と合同で、被災状況の調査を行つとともに被災自治体から要望を聞いた。翌12日には対策本部会合を開き、政府関係府省の担当者からヒアリングと、ウェブ会議システム等を用いて岩手県、秋田県、宮城県の各県連からの報告や要望を受けた。

## 大畠幹事長ら対策本部が 岩手県の被災地を視察



川村矢巾町長から説明を受ける



達増岩手県知事との意見交換

必要との認識を示し、零石町の要望に応えるために全力で支援すると約束した。

零石川の堤防建設等の河川改修に向けて、既に用地買収は進んでいたが県や国から支援がないため改修が進んでいないとの報告やすべての被災自治体から要望を聞いてまわった。零石町では、深谷政光町長の出迎えを受け、流木や車が流された零石川河川敷を観察。深谷町長から発災時の状況を聞くとともに、河川改修に対する支援が要望を受けた。大畠幹事長と階括連代表は、豪雨災害に備えるためにも、早急に河川改修に対する支援が零石川の營業ができなくなった温泉の営業ができないことを確認した。災害現場では、谷務裕明盛岡市長をはじめ旅館、ホテルの関係者らが、お盆の時期の書き入れ時に予約

客らを断わらなければならぬという厳しい状況を訴えた。ポンプや配水パイプなど温泉設備の早期復旧は、旅館・ホテルに土砂や流木が流入し、建物や敷地に被害が及ぶだけではなく、温泉の源泉を汲み上げ配水する機能が被害を受け、温泉の営業ができなくなった。

岩手県知事佐々木博真会議長から県内の被害について説明を受けるとともに、激甚災害の指定や被災者や被災自治体、旅館・ホテル、農業関係者への支援について意見交換を行った。知事からはまた、「ゲリラ豪雨の特徴として、国が管理するような大きな河川や道路よりも県や市町村が管理するような小さな河川・道路が被害を受けた」と報告があり、県が一体となって手厚く被災自治体を支援しなくてはならないとの認識で一致した。

およそ1500戸以上の住宅が浸水の被害を受けた矢巾町では、岩崎川にかかる岩崎川橋の一部が流失し、流れ、流木の撤去作業中の現場を川村光朗町長とともに視察し、付近の住民から話を聞いた。まだ潮流があることで、まずは被害の把握に努めているところと説明。大畠幹事長は、「被災

現地入りした対策本部は、既に用地買収が進んでいたが、改修工事にかかる費用がかかる零石町で、温泉の配湯設備が大きくなれば、土石流により県内で4人が死亡する大きな恐れがある」と表明した。



## ウェブ会議システム等を使い豪雨災害対策本部を開く

党本部では12日、被災県連と結んだウェブ会議システムを使い豪雨対策本部を開催。会議には政府の関係府省の担当者も出席した。

海江田代表は、捜索中

行方不明者の一刻も早い発見を願うとともに、「亡くなつた方々に哀悼の意を、

またすべての被災者にお見舞いの意を表し、関係各県

連に向けて「復旧・復興

は大変なことだと思うが、

まだ手を上げて待機

していく」と表明した。

また政府に対しては、「しっかりした調査団を派遣してきちんと現状把握を行ってほしい」と要望した。

大畠幹事長は、岩手県内の被災地について①零石町

の被災地の伐採が不十分だ

たことに起因するのではないか

と報告した上で、「今回の豪雨では、気象条件より9

日9時すぎに土砂災害警戒

情報が出ていたにもかかわらず、地元自治体が住民に避難勧告を出したのは4人

が土石流に巻き込まれたため

の14時近くであり、「ご

のよう対応の仕組みについて検証が必要だ」とも述べた。

そして党中央連から①

農業振興課から②

農業振興課から③

農業振興課から④

農業振興課から⑤

農業振興課から⑥

農業振興課から⑦

農業振興課から⑧

農業振興課から⑨

農業振興課から⑩

農業振興課から⑪

農業振興課から⑫

農業振興課から⑬

農業振興課から⑭

農業振興課から⑮

農業振興課から⑯

農業振興課から⑰

農業振興課から⑱

農業振興課から⑲

農業振興課から⑳

農業振興課から㉑

農業振興課から㉒

農業振興課から㉓

農業振興課から㉔

農業振興課から㉕

農業振興課から㉖

農業振興課から㉗

農業振興課から㉘

農業振興課から㉙

農業振興課から㉚

農業振興課から㉛

農業振興課から㉝

農業振興課から㉞

農業振興課から㉟

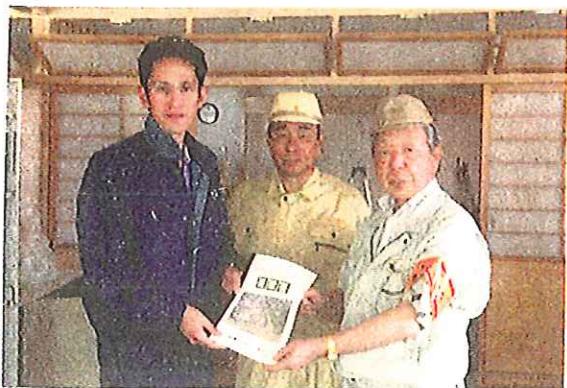
## 地域の民主党

「山津波」の恐ろしさ  
—岩手県集中豪雨

岩手県第1区総支部

階猛衆院議員  
(しな・たけし)

この度の岩手県、秋田県の集中豪雨により、お亡くなりになられた方々に衷心よりお悔やみ申し上げます。とともに、被害に遭われた多くの方々にお見舞い申し上げます。



8月9日の集中豪雨で、

「山津波」とも言われる土石流により大きな被害を受けました。10日に地元県議、

翌11日には大畠幹事長と被災現場を訪ね、被害の把握に努めました。12日に党本

部で開かれた豪雨災害対策本部の会議にインターネット中継で盛岡から参加し、

温泉供給施設の早期復旧と河川流域の立木、流木処理、早期の激甚災害指定を要請しました。25日にも矢巾町を視察のために再度訪れ、

その際に川村光朗矢巾町長から、民主党の迅速な対応への感謝の言葉と、復旧へ向けての要望書も受けました。

今後も私たち政治家が先頭に立ち、復旧・復興に向け行動していきます。